



2. 市内の消防施設

いろいろな消防の施設をくわしく見てみよう。



火災や事故が起きた場所へ
約5分でかけつけられるように
施設の場所を工夫しているんだ。



消防学校
さまざまな火災や事故に備えて、
研修や訓練を行っています。



救急ワークステーション
救急隊員が交代で研修を行います。
また、市立病院の隣にあるため、
救急現場で医師の手当てが必要な時は、
病院の医師とともに出動します。



出張所
市内には41の出張所があります。ここで
働いている人は全て24時間勤務をしてお
り、消火活動のほか、管内のパトロールや
防火指導などもしています。



消防局
119番を受け付ける札幌圏消
防指令センターなど札幌市の
消防の仕事を総括する機能が
あります。中央消防署も同じ建
物にあります。



消防署
市内各区に一署ずつ、計10
の消防署があり、火災を予防
する仕事を専門とする人たち
もここで働いています。

消防局石狩ヘリポート
石狩市にあります。消防ヘリコ
プターがあり、航空隊員が働い
ています。



3 事務室
普段みんなが仕事をすることで
す。たくさんの机やパソコンが並ん
でいます。

4 出動表示盤
区内にある消防車のようすがわかる
機械で、パトロールや出動などで車
が消防署にいない時は、ランプがつ
きます。



5 通信席
出動表示盤の操作をしたり無線を
つかって出動している消防隊と連絡を
とります。

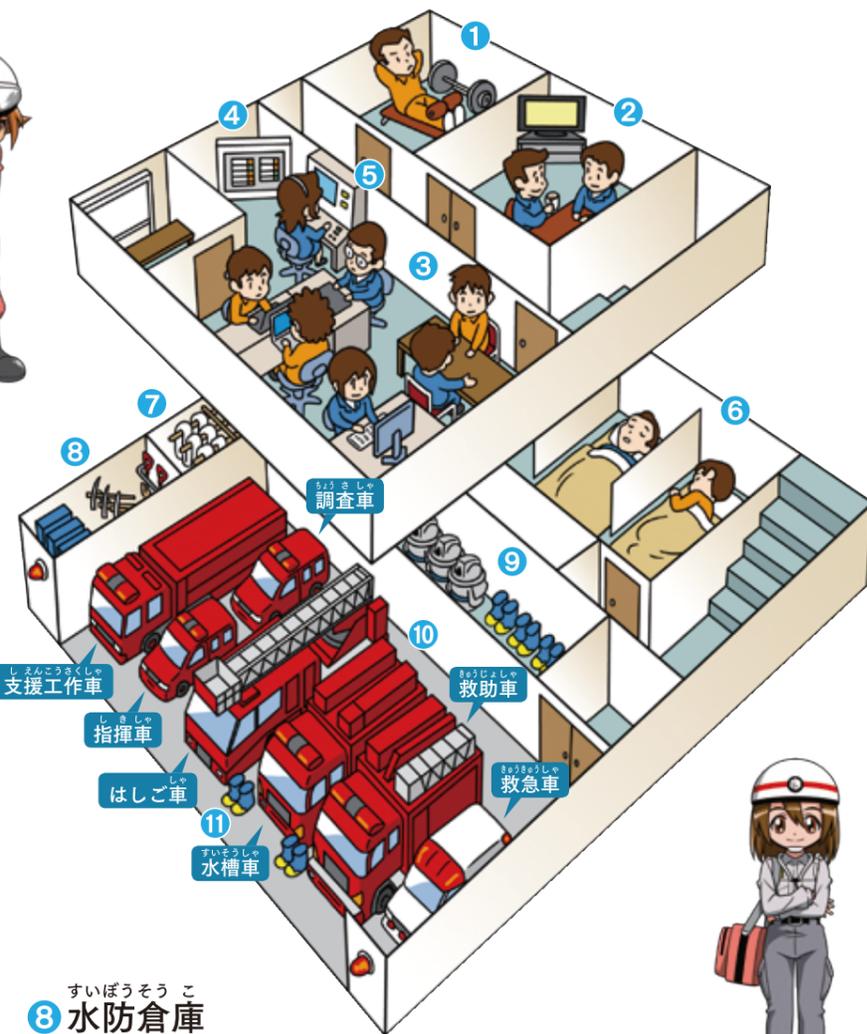
6 仮眠室
夜間に休む部屋です。出動指令は放
送と出動表示盤に表示されます。

7 ホース乾燥塔
火災現場で使用したホースを乾かし
ます。

消防署のようす

1 トレーニング室
トレーニングして身体をきた
えます。

2 待機室
休憩をしたりご飯を食べたりするところ
です。もちろんご飯の途中でも出動します。



8 水防倉庫
洪水に備えて、ポートや動力排水ポ
ンプ、防水シートなどが置かれてい
ます。



10 車庫
いつでも出動できるように、消防車
が待機しています。

11 早く出動する工夫
現場用長靴にズボンをつけています。



9 物品庫
仕事が休みの隊員の防火衣やヘル
メットをしまします。

